

井原市立井原市民病院



井原市の草花 パンジー

病院だより

日本医療機能評価機構 病院機能評価3rdG : Ver2.0認定



2025年(令和7年)
2月発行



美星町の夜空

地域とともに歩み、
より愛される病院を目指して



井原市マスコットキャラクター
でんちゅうくん

内科

循環器内科

小児科

外科

整形外科

眼科

消化器外科

脳神経外科

耳鼻咽喉科

リハビリテーション科

放射線科

皮膚科

泌尿器科

産婦人科

救急科

新年のご挨拶

あけましておめでとうございます。
本年もよろしく願い申し上げます。



病院事業管理者
さいとう しんや
齋藤 信也

皆さん、2025年（令和7年）の幕開けはいかがだったでしょうか。今年は巳年ですが、皆さんは医療と蛇の関係についてご存じですか。例えば救急車のマークに蛇がついていたり、WHO（世界保健機関）のロゴマークにも、蛇が巻き付いた杖が世界地図の真ん中に描かれたりしています。

すでによく知っている人も多いとは思いますが、これは一般に「アスクレピオスの蛇」と呼ばれています。アスクレピオスはギリシア神話の太陽神アポロンの息子で、医術の祖とされています。彼は、病気や怪我で悩む人々のために常に旅行をしており、その時には必ず1匹の蛇が巻き付いた杖を持っていたことが、このマークの由来となっています。

ではなぜ蛇なのでしょう。神話によると、アスクレピオスが患者を診察している時に、彼を

驚かせた蛇を杖で殺してしまいましたが、他の蛇が、死んだ蛇の口に魔法の薬草を入れてよみがえったそうです。この力に感動したアスクレピオスは杖に巻き付いた1匹の蛇をシンボルとしたとのことです。

これに加えて、もともと蛇は、表面が傷ついても脱皮をすることで傷のない姿に戻るといった性質から、再生と治癒のシンボルとされてきたことも影響しているようです。

私たちも2025年（令和7年）をスタートするに当たり、蛇の強い生命力と再生力にあやかるとして、市民の皆さんの病院に対する付託に応えていきたいと思っています。今年もよろしく願いいたします。



院長
まえだ てつや
前田 徹也

2025年（令和7年）謹んで新春のご挨拶申し上げます。日頃より井原市民病院へのご理解とご協力をいただき、厚く感謝申し上げます。2024年（令和6年）4月に院長に就任し、病院事業管理者齋藤信也先生と共に病院の運営と経営改善に取り組んでいるところでございます。

引き続き、市民の皆さんから信頼される病院となるよう、常勤医師の確保に努め、救急や急患のお断りを少なくする「断らない医療」を目指します。積極的に地域に出向き、地域住民の皆さんや行政、企業団体とのつながりを深め、当院に求められるニーズを把握し応えたいと思います。

昨年秋には、公務員倫理と責務の職員研修を行いました。今後もコンプライアンスとハラスメント防止に努めてまいります。また、今年秋に病院機能評価機構受審を控えており、病院機能の改善と研鑽に努め、準備を進めてまいります。

昨年は、私自身も1人の医師として、週3回の外来診察・化学療法・外科手術・整形外科骨折手術助手・全身麻酔を担当しました。また、胃大腸十二指腸内視鏡の検査を行い、EMR・ESD・EST・食道大腸胆道ステント留置なども行いました。今年も自ら率先して診療を行い、市民の皆さんの命と健康を守って市民病院が皆さんから信頼される病院となりますよう努力する所存ですので、市民の皆さんのご理解とご支援を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。





副院長 内科医長
しまだ もりぞう
島田 百利三

昨年2024年（令和6年）4月から医師の働き方改革がスタートしました。当院では大学病院等からの非常勤医師の派遣は前年通り継続されており、大きな混乱はなく一安心しています。しかし常勤医師の高齢化や非常勤医師の退職もあり、医師確保は喫緊の課題ですが問題解決は非常にむずかしいというのが現状であります。地域枠医師の派遣継続や専攻医（いわゆる後期研修医）の地域医療研修などを含め、引き続き関係機関への働きかけを継続していく必要があります。

2024年度（令和6年度）診療報酬改定では診療報酬本体で0.88%のプラス改定（薬価・材料費-1.0%を含めると全体で0.12%のマイナス）となりましたが、現在の光熱水費などの物価高騰を考慮すると本体のみでも実質的にはマイナスであり、病院経営的には非常に厳しい改定と言わざるを得ません。公立病院は救急医療や小児医療など、民間病院では不採算とされる場合が多い医療を担う責務があり経営努力だけで黒字化することは至難の業とも言えますが、それでも、今後も病院を維持していくためにはムダを省いて経費をできるだけ削減するとともに医療の質を担保したうえで、

効率的な医療を提供することで収益を確保することが必要でもあります。2023年（令和5年）12月に策定した「経営強化プラン」の目標値にすこしでも近づける（できれば上回る）よう努力する必要がありますが、まずは職員一人一人が自身の専門性を生かして患者さんに真摯に接すること、自治体病院職員として地域の市民の方々の健康の維持増進に積極的に関わっていく自覚を持つことが大事だとあらためて思います。そうすることで地域の患者さんからさらに信頼される病院に進化していくことが必要だと思います。

昨年4月に当院の病院事業管理者に齋藤信也先生が、院長に前田徹也先生が就任されて、精力的に取り組まれています。病院内の雰囲気も少し変わったように思います。

今年は病院機能評価の5年ごとの更新審査の年になります。受審にはかなりの準備が必要になりますが、これを良い機会として現状の見直しと今後の取り組みへのステップにしていけたらと思っています。

ちょっと固い話になってしまいましたが、今年一年どうぞよろしくお願い申し上げます。



副院長
看護部長
みやけ いずみ
三宅 泉

2025年（令和7年）が始まりました。看護部長に就任し、5年目を迎えます。5年前の医療情勢と現在とでは、多くの変化が見られ、看護職に求められる能力も大きく変化していることを強く実感しています。患者さんやご家族のニーズが多様化すると同時に、あらゆる生活の場を理解し、様々な場所で看護を提供することができる高いスキルも求められています。患者さんやご家族の価値観も、量から質へ、キュアからケアへ変化してきているのではないのでしょうか。このように変化を遂げる中で、看護師の役割は大きく、関わる患者さんを全人的にアプローチすることができ、一部分ではなく全体を捉え、患者さんやご家族の思いに寄り添うことが看護師という専門職の大きな役割であると思います。目の前の患者さんに

タイムリーに看護を提供するだけでなく、提供した看護には、やりかえることができない責任が伴います。自分が行なった看護で患者さんがどのように変わったのか、看護師として何ができるのかを常に考えることのできる自律した看護師であってほしいと強く願っています。

2025年（令和7年）は巳年です。脱皮をするへビは「復活と再生」を連想させるとも言われています。成功することばかりではありませんが、失敗の中から学び、諦めない気持ちを常に持つことが大切です。今年は、「治し支える医療に看護の力を発揮する」ことを大きな目標として、看護部一丸となり、取り組んでまいりたいと思います。今年もどうぞよろしくお願いいたします。



医療機関内では
マスクの着用をお願いします！



マスクの着用は個人の判断に委ねられることになりましたが、医療機関を受診する時や訪問する時はマスクの着用が推奨されています。ご高齢の方や重症化リスクの高い方への感染を防ぐため、引き続きみなさんのご協力をお願いいたします。



手術部長
ひらた てつお
平田 哲男

皆さんには、爽やかな新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

昨年の当院の手術室に関する大きな変化といたしましては、消化器外科に前田徹也院長が着任し新体制になったことです。これに伴い、幅広い消化器外科疾患と緊急手術への対応が広がったことをまずご報告いたします。岡山大学からの応援医師の協力も得つつ手術件数も増加しています。体調のすぐれない折、健康に不安を持った際には当院の内科・消化器外科にご相談いただければ幸い

です。

人口の高齢化に伴い、眼科疾患の白内障や整形外科疾患の脆弱性骨折を患うことも少なくはないかと思えます。皆さんのADL (Activities of daily living: 日常生活動作) を確保しQOL (Quality of life: 人生・生活の質) を豊かにできるよう、診療にあたらせていただきます。

皆さんから信頼される病院になれるよう努力してまいります。引き続きのご理解とご支援をよろしくお願いいたします。



診療部長
りゅうこ ひろまさ
立古 浩雅

2023年度(令和5年度)から診療部長に就任しております立古です。

昨年(令和6年)は事業管理者の齋藤先生、院長の前田先生での新体制が出発した年でした。

また、夏の猛暑が長く続きました。そして夏が終わった、と思う間も無く厳しい冬の寒さがやって来ました。現在(年末年始)インフルエンザが

流行しており、病院を受診される患者さんだけでなく病院で働く皆さんと、その家族にも感染者が増えております。そのため例年の冬以上に医療のひっ迫が予想されます。

本年(令和7年)は、病院機能評価が行われる年でもあります。新体制のもと、こういった事案の対処に尽力してまいりたいと思えます。

ドック・
健診部長
くりやま もとあき
栗山 宗彰

明けましておめでとうございます。

新年も引き続き、皆さんに、安心、安全、そして快適な健診を受けていただけるように努めていきます。

人間ドックの使命である国民の健康増進、生活指導による一次予防と、早期発見・早期治療による二次予防の重要性を認識し、人間ドック

の担当医として資質の向上を図り、健康寿命を延伸するために、質の高い人間ドック・健診を行うことができる、社会に信頼される人間ドック健診医を目指したいと考えています。

また、引き続き内科医としても地域に貢献していきたいと思っています。今年もよろしくお願い致します。



事務部長
つぐみ ゆういちろう
津組 勇一郎

謹んで新春のお慶びを申し上げます。本年が皆様にとって、心豊かに安心して暮らせる年となりますことを心よりお祈り申し上げます。

さて、当院の昨年1年間を振り返りますと、コロナ感染症5類移行後も入院や外来の患者数は回復せず、さらに人件費や光熱水費の増加、さらには、薬剤師や看護師などの医療職の人員不足に拍車がかかるなど、病院運営にたいへん苦慮した1年でした。

こうした厳しい状況は、残念ながら本年も続くものと思いますが、まずは、2023年度(令和5年度)

に策定した当院の経営安定化の指針である「井原市民病院経営強化プラン」の取り組みを着実に推進し、当院に求められる役割を果たすため、職員一丸となって頑張っていきたいと考えています。

今年の干支は巳(み・へび)です。脱皮するへびは「再生」「復活」のシンボルとされています。コロナ感染症やロシアによるウクライナ侵攻、ガソリンや電気、食料品などの価格の高騰、こうした社会の様々な不安定が少しでも解消され、復活の年になればと思います。

新入職員 紹介

よろしくお願ひします



前職で出会った方々にエールをいただきつつ、2024年(令和6年)12月から、地域医療連携室に配属させていただきました。これまでは、県外の病院で精神保健福祉士として、障害がある方やアディクション(依存症)でお困り方などの支援にも携わらせていただいております。一般科の病院で働くのは初めてのなので、まだまだ分からないこともあり、未熟ではございますが、日々、皆さんと関わりながら、勉強させていただきます。皆さんが少しでもご安心いただける支援ができるように、精一杯頑張ってまいりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。



地域医療連携室
社会福祉士
いそむら こうた
磯村 公太

半日ドック検査メニュー紹介

料金: 33,000円(税込み)

検査項目		関連疾患	
問診・診察	胸部聴診 頸部・腹部触診など	胸腹部疾患、甲状腺疾患	
身体測定	身長・体重・腹囲	肥満、メタボリック症候群	
生理検査	血圧測定・心拍数・心電図検査	高血圧、不整脈など心臓疾患	
視力検査	視力検査・眼底・眼圧	緑内障、糖尿病性網膜症、高血圧眼底など眼疾患	
聴力検査	聴力	難聴	
肺機能検査	呼吸機能	気管支喘息、肺気腫（COPD）など	
胸部X線	レントゲン撮影	胸部疾患（肺がん、肺気腫）	
上部消化管 ※1	X線検査（バリウム）又は上部内視鏡検査（胃カメラ）※2	胃潰瘍、胃がん、萎縮性胃炎（ピロリ菌感染胃炎）	
腹部超音波検査	肝臓（脾臓）・胆のう・すい臓・腎臓・腹部大動脈など	消化器疾患（胆石、肝がん、脂肪肝、腹部大動脈）	
血液検査	肝臓系	総蛋白、アルブミン、AST（GOT）、ALT（GPT） ALP、 γ -GT（ γ -GTP）、総ビリリビン	肝炎、脂肪肝、栄養障害
	腎臓系	クレアチニン、eGFR、尿酸	慢性腎臓病（CKD）、腎不全、痛風など
	脂質系	総コレステロール、HDLコレステロール、 LDLコレステロール、中性脂肪、non-HDLコレステロール	高脂血症（脂質異常症）、動脈硬化
	糖代謝	血糖（空腹時）、HbA1c	糖尿病
	血液学	赤血球、白血球、血色素、ヘマトクリット、血小板	貧血、白血病などの血液疾患
	感染症	CRP	炎症反応
尿	蛋白・尿糖・潜血など	腎炎、慢性腎臓病（CKD）、泌尿器疾患など	
便	免疫法で実施（2日法）	大腸がん	

【上部消化管検査】

- ※1 X線検査（バリウム）から上部内視鏡検査（胃カメラ）へ変更ができます。
ご希望の場合には追加料金として別途3300円を頂戴します。
変更希望の方は、予約時に必ずご連絡をお願いいたします。
人数にかぎりがございますので、ご希望に添えない場合があります。ご了承ください。
- ※2 上部内視鏡検査（胃カメラ）時に鎮静剤を使用することができます。
ご希望の場合には追加料金として別途1100円を頂戴します。
鎮静剤の使用により、人によっては半日くらい眠気やフラフラ感が続きますので、
検査当日は、絶対に車・バイク・自転車の運転はしないでください。
希望の方は、予約時に必ずご連絡をお願いいたします。
人数にかぎりがございますので、ご希望に添えない場合があります。ご了承ください。

当院の人間ドック（半日コース）は法定健診の項目を含んでいます。

法定健診 … 企業に義務付けられている年に一度の健診又は雇用時の健診
(職業によっては特殊な検査が必要な場合があります)

- お電話にてお申し込みください。
- ご連絡先：井原市立井原市民病院 ドック・健診部
0866-62-1133（代表）
【受付時間】月～金曜（祝日を除く） 13:00～17:00

第62回全国自治体病院学会 in 新潟

開催日：2024年（令和6年）10月31日・11月1日

場所：朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター・ホテル日航新潟

ポスター発表／
リハビリテーション分科会
(摂食・嚥下)

「当院の地域包括ケア病棟における嚥下障害リスクと 言語聴覚療法の介入状況による摂食嚥下支援の検討」

言語聴覚士 ^{かさほら} ^{あつこ}
笠原 厚子

新潟は晴天に恵まれ、会場の朱鷺メッセは佐渡汽船乗り場のすぐそばで、穏やかな信濃川に浮かぶ船を見ることができ、とても癒される場所でした。会場には医師をはじめ、たくさんの方々が集まり、盛大に行われました。

私は、リハビリテーション分科会の摂食・嚥下部門でポスター発表をしました。

当院には、一般病棟、療養病棟、そして地域包括ケア病棟があります。この地域包括ケア病棟は、住み慣れた地域での療養を支援する病棟ですが、そのうちの在宅生活復帰支援では、身体機能・日常生活動作向上と同等に、摂食・嚥下機能の評価や練習を行い、**栄養摂取方法の**

援助も非常に重要となります。今回私は、地域包括ケア病棟に入院されていた患者さんの嚥下障害リスクと言語聴覚士の介入状況を調査し、今後の摂食・嚥下支援のあり方について研究したので、その内容を発表しました。

会場では、多くの皆さんが熱心に私の発表を聞いてくださり、演題についての意見交換ができたので、非常に参考になりました。他の分科会の研究報告や症例報告のポスター展示を見たり発表を聞いたりして、色々な評価・方法等を知ることができました。

また、総会特別講演の県民公開講座があり、「ダンスが果たす使命」という話を聴講しました。ダンスの価値を活用し、社会に役立つ医療的事業創造を促していくというお話でした。未来に向かって、医療だけでなく地域とのかかわり・取り組みなどを積極的に行われていることを聞き、非常に勉強になると共に、私もパワーをいただけたように思います。

この経験を今後の臨床に生かしていきたいと思います。



第8回アジア太平洋作業療法学会

開催日：2024年（令和6年）11月6日～11月9日 場所：札幌コンベンションセンター

「初めての国際学会と英語発表」

作業療法士 ^{さの} ^{ひろかず}
佐野 裕和



「第8回アジア太平洋作業療法学会」に参加し、人生初の英語発表に挑戦しました。訪問リハにおける**活動日記**の実践についてポスター発表を行い、アジア太平洋地域を中心とした参加者と意見交換ができました。初の国際学会という緊張感の中、ポスターの前に立ち止まってくれた方に岡山名物きびだんごを1個渡し、「Anyone who eats the kibidango will become a friend. (きびだんごを食べた人は友達になります。)」と声をかけました。掴みは上々でしたが、英語でのコミュニケーションは容易ではなく、議論を深める難しさを痛感しました。

活動日記は日々の活動を簡便に振り返り、行動変容を促し、生活満足感を向上させる効果があります。活動日記に関心を持った参加者からは、さらなる活用のアイデアをもらうことができました。

学会で得た知見を生かし、今後は当院の患者さんのみならず、市民の皆さんにも活動日記を知ってもらい、**健康づくりに貢献**していきたいと考えています。

今回の学会発表を通じて、自身の成長を実感するとともに、さらなる課題を見つけるきっかけにもなりました。英語力を磨き、機会があれば国際学会での発表を行い、より深い議論ができるよう準備を進めていきたいと思っています。初めての国際学会での発表は、新たな意欲を引き出す貴重な経験となりました。

岡山県看護学会

開催日：2024年（令和6年）11月9日 場所：岡山県看護会館

「高齢2型糖尿病患者の自己管理を困難にする要因」

外来看護師 ^{ほり} ^{なおこ}
堀 尚子

2型糖尿病の患者数は、加齢とともに増加する傾向にあります。糖尿病による合併症だけでなく、認知症や骨折など、加齢に伴い様々な合併症が生じやすく、日常生活活動やQOLが低下することが報告されています。今回、2型糖尿病を持つ高齢者の方が自己管理を行ううえで、どのような事に困難を抱えているのかを明らかにしたいと考え研究を行いました。

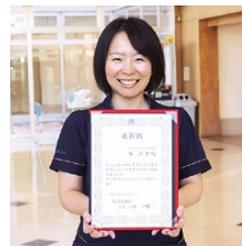
○方法と結果

文献検討を行った結果、高齢2型糖尿病患者の自己管理を困難にしている要因として、以下の6つが明らかとなりました。

- 【食事制限に打ち勝つ意思を支える人的・社会的環境が不足している】
- 【糖尿病は治せないという認識や過去の自分の経験から自己判断する】
- 【インスリン療法・食事療法に伴う日常生活の制限がある】
- 【低血糖への対処の難しさから、高血糖のまま保持してもかまわないと考えている】
- 【糖尿病治療への意欲はあるが、行動に移せない】
- 【糖尿病に対する知識不足・理解不足・情報判断能力不足により治療継続が困難となる】

○結論

2型糖尿病を持つ高齢者の方への自己管理を促進させるための支援においては、個々の思いや生活上の制限を理解し、可能な範囲で自己管理行動を継続できる具体的な方法を一緒に考えることが必要です。今後は、血糖コントロールができている高齢者の方に焦点をあて、インタビューを通して日頃行っている工夫や努力、サポート体制などを調査していきたいと考えています。

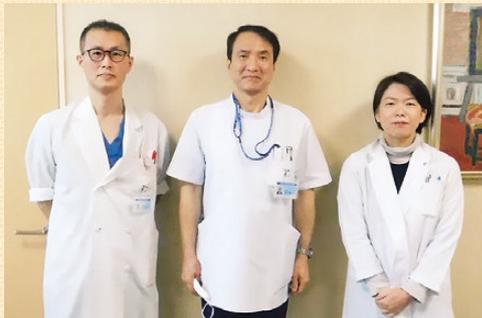


消化器外科の取り組み

当院の消化器外科は、2024年（令和6年）4月1日より前田・小林・杉生の3名で行っています。消化器外科といっても、いわゆる日常の外傷処置など、一般的な外科的処置が必要なケースにも対応しています。消化器外科の疾患は、大きく分けて良性疾患と悪性疾患があります。良性疾患の代表的な疾患には、「急性虫垂炎」「鼠径ヘルニア」「総胆管結石症・胆嚢結石症」などがあり、いずれも緊急処置や緊急手術が必要となる場合があります。当院では、総胆管結石に対しては内視鏡的乳頭括約筋切開術（ERCP、EST）のほか、巨大結石などの内視鏡での処置不可能例に対しては、手術による総胆管切石術も施行しています。そのほか、虫垂切除術、（腹腔鏡下）鼠径ヘルニア修復術、腹腔鏡下胆嚢摘出術などを行っています。

悪性疾患については、胃癌、大腸癌をはじめとする「消化器癌」にも対応しています。上部消化管内視鏡検査、下部消化管内視鏡検査において治癒切除可能な胃癌、大腸癌に対しては、内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）を行っています。手術については胃幽門側胃切除術、胃亜全摘術、腹腔鏡下S状結腸切除術、腹腔鏡下低位前方切除術、腹腔鏡下超低位前方切除術といった術式を行っています。消化器癌に対する化学療法にも対応しており、外来通院あるいは入院で実施しています。必要な場合は、撓側皮静脈カットダウン法により中心静脈ポートを留置しています。

また、当院では週1回の外科カンファレンスを開催しています。診療ガイドラインを遵守しつつ、患者さんの年齢や全身状態などを含む総合的な観点から、ご本人に最適な治療方針を決定し提示しています。



消化器外科医長
すぎょう くみ
杉生 久美

がんリハはじめました

がん対策のより一層の推進を図るため、国の施策として2006年（平成18年）に「がん対策基本法」が成立し、2007年（平成19年）に「第一期がん対策推進基本計画」が策定され、がん対策の取り組みが本格的にスタートしました。2017年（平成29年）には「第三期がん対策推進基本計画」が策定され、がんリハビリテーションが目指されています。

がんリハビリテーションとは、「がん治療の連続した過程の中で統合されるべき医療であり、リハビリテーション専門職種が患者さんの身体的、心理的、認知機能障害をアセスメント（評価）し、機能維持・回復、症状軽減、日常生活動作の自立化、さらにはQOL（Quality of life：生活の質）の向上を図ること」と定義されており、療養の質向上に直接的に寄与できる介入手段です。手術前、治療中（手術や抗がん剤投与）、手術後、緩和ケアにおいて継続的にサポートすべく、当院でも理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、医師など多職種の医療従事者が研修を受け、知識や技能を修得し10月より本格的に始動しています。がん患者さんのより良い生活に寄与すべく、治療計画を共有しながらスタッフで協力してスムーズに対応実施していこうと思います。



外科医長兼
消化器外科医長
こばやし かずや
小林 和也



職員表彰 病院優良職員表彰（岡山県病院協会）

受賞者の声

このたび、岡山県病院協会より病院優良職員表彰をいただきました。1999年（平成11年）4月に井原市民病院に赴任して丸25年になり四半世紀が経過していますが、長いようで意外と短いような気もしています。これまで一緒に働いてきた病院職員の方々や家族、それから地域の患者さんに感謝しながら、これからも微力ながら地域医療に貢献していけたらと思っています。引き続きよろしく願いいたします。



副院長 内科医長
しまだ もりぞう
島田 百利三

このたび、岡山県病院協会 病院優良職員として表彰していただきました。

私が井原市立井原市民病院へ入職して、今年で24年になります。様々な歴史を感じ、自分自身も子育てをしながら、家族や職員の方々に支えていただき、今日まで勤務することができたことに深く感謝いたします。

これからも職員の皆さんと力を合わせ、微力ではありますが当院のために尽力してまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



副院長(兼)
看護部長
みやけ いずみ
三宅 泉

● BLS (Basic Life Support (一次救命処置)) 研修

開催日：2024年(令和6年)11月12日

本研修会では、院内の医療従事者が、救命に係る知識や技術を再確認し、緊急時に迅速かつ適切な対応ができるよう、実技を中心に行われました。

井原消防組合の救急救命士の方にもご協力いただき、院内のインストラクターと共に、胸骨圧迫の正確なリズムや力加減、AED (Automated External Defibrillator (自動体外式除細動器)) の適切な操作方法について、実践的に学びました。

特に、オートショックAED*の使用は初めてという職員も多く、操作方法や使用時の注意点を学ぶには、良い機会となりました。

今回の研修には、2日間で109名の職員が参加し、全員が真剣に取り組む姿が印象的でした。参加者からは「基本を改めて学び直す良い機会だった」との声が寄せられ、職員一人一人が救命処置の重要性を再認識し、今後の迅速かつ適切な対応につながる有意義な時間となりました。

今後も定期的な研修を通じて、安心で安全な医療体制を整えてまいります。

*オートショックAEDとは、電気ショックが必要と判断した場合に、従来のAEDのようにショックボタンを押さずとも、自動で電気ショックを実施するAEDです。



救急委員会
外来看護師長
さとう よしこ
佐藤 佳子

● 感染管理認定看護師取得に関する実習

開催日：2024年(令和6年)11月20日～12月17日

高梁市国民健康保険成羽病院 ^{いわした} 岩下 ますみ

このたびは、お忙しい中、長期にわたり私たちの実習を受けてくださり、誠にありがとうございました。

看護学生時代以来の実習に大変緊張しておりましたが、皆さんの笑顔や優しい言葉に触れ、心が温まる毎日でした。また、ホスピタリティ(心からのおもてなし、深い思いやり)溢れる姿勢を拝見し、一人の医療従事者としても背筋が伸びる思いでした。

貴院での実習では、柳本先生をはじめICT (Infection Control Team: 感染対策チーム) の皆さんには、貴重なご指導をいただき感謝申し上げます。感染に対して真摯に取り組まれる姿に、身が引き締まる思いになりました。皆さんから学んだことをもとに、感染管理の知識を深め、地域に貢献していきたいと思っております。今後ともよろしく願いたします。

移り行く山々の美しい紅葉を見ながら通わせていただき、とても有意義な1か月間でした。

院内ICT (Infection Control Team: 感染対策チーム) 委員会に参加し、院内全体で感染管理を行う重要性を学びました。また、ICTラウンドに同行し、手指衛生を徹底する院内の風土を感じました。訪問看護やクラスター発生施設の訪問にも同行し、現場での対応の大切さを実感しました。また、感染管理認定看護師としての責務も強く感じました。地域連携カンファレンスでは、地域全体での感染対策強化の重要性を再認識しました。

新見中央病院 ^{おおた あやこ} 太田 亜矢子

院内スタッフの皆さんは廊下や階段ですれ違うたびに挨拶をしてくださり、温かい雰囲気を感じ心地の良い院内でした。毎朝、病院前で患者さんを出迎えるリハビリスタッフの方々から私まで元気をもらい、売店の唐揚げ弁当や木曜日限定のバナナも楽しみの一つでした。たくさん学びをさせていただき、井原市民病院で実習できて本当に良かったなと感じています。ありがとうございました。

学生実習

☑ 医療体験実習

2024年(令和6年)9月30日～10月4日

岡山大学 医学部 医学科3年生 ^{みちした りこ} 道下 凜子

1週間という短い間でしたが、様々な職種の方とお話させていただき、学生生活のアドバイスや将来医師として働くうえで重要なことを学ぶことができました。実際の地域医療の現場で患者さんのために働く井原市民病院の皆さんの姿には刺激とモチベーションを多くいただきました。これからの生活では、この経験を胸に医学の勉強だけでなく、人間関係やコミュニケーションも大切にして、色々な人にとって良い医師となり、患者さんにより良い医療を提供できる人材になれるよう、精進してまいりたいと思っております。皆さんのご厚意のおかげでとても充実した日々を過ごさせていただけたことに感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。



● 医学書執筆

「そこが知りたかった!弱視斜視診療のポイント」を執筆

眼科プラクティスシリーズは、私たち眼科医に人気の実践的な眼科学書で、第1期（1992年（平成4年）～2003年（平成15年））の「眼科診療プラクティス」101巻と、第2期（2005年（平成17年）～2009年（平成21年））の「眼科プラクティス」30巻があります。私もこのシリーズが大好きで、このうち何冊かをもち、日々の診療に活用しています。

今回、令和時代の眼科の実情に合った形でのシリーズ復活を要望する声に応じて、「新篇 眼科プラクティス」シリーズが刊行されることになり、その第14巻「そこが知りたかった!弱視斜視診療のポイント」の原稿を執筆させていただきました。

本書は、浜松医科大学 佐藤 美保教授と川崎医科大学 三木 淳司教授が編集されています。弱視・斜視に関する疾患を幅広くカバーし、それらの疾患の概念、診断方法、治療方針について、図表を多く用いて簡潔に分かりやすく記されており、眼科医のみならず視能訓練士も必携の実用書です。私は、「術後管理」について執筆させていただきました。

斜視は全身麻酔での小児の手術も多く、手術ができる施設は限られています。術後も長年に渡って眼位や眼鏡の管理が必要になることが多く、当院の弱視斜視外来にも多くの術後の患者さんが受診されています。その中で経験したことや、非常にまれだが気をつけたい術後合併症を文献や成書を引用しながら書かせていただきました。「もっとこんなふうに行けばよかった。」と思うことが多々あり恥ずかしい思いもありますが、知識を整理し勉強する大切な機会を与えられたことに感謝し、大変光栄に思っております。そして、完成後にいただいた1冊は、私の宝物であり、愛読書となっております。

これからも、日々、自分のできることを誠実に行なう診療を心がけたいと思っております。

最後に、的確な検査で日々の診療を助けてくれている2名の視能訓練士、斜視外来で御指導いただいている大月 洋岡山大学名誉教授に、心より感謝いたします。



眼科医長
きしもと ふみこ
岸本 典子



● 井原市 生活習慣病予防セミナー

開催日：2024年（令和6年）12月13日 場所：井原保健センター

「生活習慣病予防セミナー」へ講師として参加させていただきました。このセミナーは、健康に関する基礎知識と生活習慣の改善方法について学び、生活習慣病の発症を予防する目的で井原市が開催している健康教室です。医師や歯科衛生士、健康運動指導士など、多方面で活躍されている先生方が順番に講師を担当されています。今回のセミナーでは、当院から看護師と管理栄養士が「糖尿病」をテーマにお話をさせていただきました。

看護師は主に糖尿病の合併症について、気をつけるべき生活習慣や予防方法について写真やグラフを使ってお話をしました。管理栄養士からは血糖値を上げる「糖質」について、血糖値を上げてしまいやすい食べ方や糖質を多く含んでいる食品についてお話をしました。

これからも、地域の皆さんが生活習慣病予防に興味を持つきっかけとなり、健康に不安を抱えていらっしゃる方の支えとなれるよう、情報発信を行っていきたいと思います。



看護師（日本
糖尿病療養指導士）
ほり なおこ
堀 尚子



主任管理栄養士
たけもと なつ
竹元 夏



● おかやまマラソン救護ボランティア

開催日：2024年(令和6年)11月10日



手術室・内視鏡室・中央材料室の看護師3人でおかやまマラソン2024の救護ボランティアに参加しました。当日は天候にも恵まれ、秋晴れの暖かい日となりました。

行きの車内でボランティアの流れを復習し、22km救護所へ到着すると、さっそく赤いユニフォームに着替え、救護所の設置に取りかかりました。設置が終わると、スタッフの顔合わせがあり、定刻(8時45分)にはランナーが一斉にスタートしました。

初めは沿道からランナーを見守りつつ応援していましたが、市民ランナーが通過するようになると救護者が出てくるようになり、少し慌ただしくなってきました。スタートから2時間が経過した頃、ランナーから「道の端に誰か倒れている」と通報があり、現場に緊張が走りました。私たちは急いで現場に向かいました。すでにドクターランナーにより心肺蘇生が行われていました。救護の邪魔にならないように他のランナーの誘導を行い、救急車の到着を待ちました。現場に医療用具は何もなく、班長に連絡するも携帯がつかず、私は救護所まで血圧計などを取りに戻り、また現場へと走りました。現場に戻った頃、ランナーは心拍を再開しており、無事救急搬送されました。

後日、このランナーは無事に一命を取りとめたと大会本部から連絡をいただき、一安心しました。また、私たちの救護に対して感謝状もいただきました。

私たち救護班にとっても、日ごろの慣れた業務環境とは違った状況でもあり、もっとあすれば良かったのになあと反省もありますが、少しでもお役に立てたのであれば良かったなと思っています。

全力疾走したため、ランナーとして参加したのかなというぐらい疲れましたが、救護ボランティアに参加し貴重な経験をすることができました。



手術室・内視鏡室・
中央材料室 看護師長
いではら うめか
出原 梅香



お知らせ

産科セミオープンシステム

～妊婦健診を再開しています～

当院では、2006年(平成18年)8月から産婦人科常勤医の退職に伴い、分娩の休止を余儀なくされ、妊婦の受け入れを停止していました。このため井原地域の皆さんには、隣接する福山市など近隣の病院や医院まで足を運び、妊婦健診・出産をせざるを得ない状況が続いておりました。

しかし、井原市在住の妊婦の皆さんが地元地域で妊婦健診を受けることができ、緊急時に受診可能な連携体制を整備するため、地域における効果的な産婦人科医療体制について検討を行い、産科セミオープンシステムを開設しています。



このシステムでは、妊娠初期より妊婦健診は当院で受診し、妊娠33週以降の妊婦健診や分娩を分娩施設のあるクリニックや病院、周産期センターで行っていただくことで、分娩の安全性と妊婦の皆さんの利便性を保ちながら、それぞれの医療機関の特性を生かした役割分担が可能となるものです。

○妊婦健診日時：毎週月曜日と水曜日
受付時間9:30～14:30

※上記時間以外の緊急受診の場合は、分娩予定の施設へご相談ください。

赤ちゃん和妈妈を守る妊婦健診 ～妊娠中期～



みなさん、こんにちは。井原市民病院では近隣の病院と連携して、井原在住の妊婦さんが地元で妊婦健診を受けながら、安心して過ごせる体制を整えています。

さて、今回は、前回に続いて妊娠中期の検査と産科疾患について解説します。妊娠中期検査では、貧血と血糖値を検査します。また超音波検査では胎児の向きや発育、胎盤の位置などを観察しています。

3. 妊娠糖尿病

妊娠糖尿病は、妊娠中に初めて発見される血糖値の異常です。妊娠中期以降は、インスリンの働きが弱まるため、妊娠前に糖尿病ではなかった人でも発症することがあります。血糖値のコントロールが不十分だと、赤ちゃんが大きくなりすぎる（巨大児：出生体重が4000g以上の正期産児）や、出産後の赤ちゃんに低血糖が見られることがあります。

注意すべきポイント

- **症状**：自覚症状がほとんどないため、定期健診での血液検査で診断されることが一般的です。特に体重増加が著しい場合や、過去に巨大児を出産した経験がある場合は注意が必要です。
- **治療**：妊娠糖尿病を指摘された場合には、食事療法やインスリン投与により血糖値のコントロールを行うことが大切です。



岡山大学病院 産科婦人科
岡山大学学術研究院 周産期・小児救急医療学講座
HPVワクチン拠点病院事業 中国ブロック事務局

おがわ ちかこ
小川 千加子



4. 前置胎盤

胎盤は、赤ちゃんに栄養や酸素を送るための重要な器官です。前置胎盤は胎盤が通常よりも低い位置に形成され、子宮口を覆う状態となったものです。前置胎盤では、通常、帝王切開が選択されます。

注意すべきポイント

- **症状**：前置胎盤の自覚症状はなく、超音波検査によって診断されます。週数が早いうちに前置胎盤の疑いと言われても、妊娠が進んで子宮が大きくなるにつれ、前置胎盤の状態が解消されることがあります。しかし妊娠中期の終わりごろになっても胎盤が子宮口を覆っている場合には注意が必要です。突然、出血や強い腹痛（警告出血）が見られる場合、その後の大量出血の予兆の場合があります。緊急対応が必要ですので、すぐに医師に連絡しましょう。
- **予防**：前置胎盤の多くは超音波検査で早期に発見できます。診断の後、必要に応じて安静や経過観察が求められることがあります。

最後に

妊娠中期は比較的安定した時期ではありますが、これらの疾患は母体と赤ちゃんの健康に大きな影響を及ぼすことがあります。普段から適切な栄養や休息、ストレス管理を心がけることはもちろん、異常を感じた際にはすぐに医師に相談することが大切です。早期発見と適切な対処が、母体と赤ちゃんの健康を守る最良の方法です。

定期健診を欠かさず、健康状態をしっかりと把握しながら、快適な妊娠生活を過ごしていただけるようサポートします。



井原放送「市政だより」に出演

地域の皆さんに「役立つ医療の情報」を提供するため、井原放送にて放送中の行政番組『市政だより』のコーナー『いきいき健康教室』に出演しています。

●当院の担当月 … 2025年（令和7年）2月、4月

●放送時間 …… 毎週火曜日の夜と、水曜日の午前中に、井原放送にて繰り返し放送中



薬剤師
しばた ゆうこ
柴田 裕子

貼り薬のメリット・デメリット 2024年（令和6年）12月放送

貼り薬とは、皮膚に貼り付けて薬の有効成分を体内に取り込む製剤のことです。

○貼り薬のメリット

- ・全身性の副作用を軽減することができる
- ・血液中に、長時間、一定した薬の濃度が得られる
- ・服用の必要がないので、飲み込むのが難しい小児や高齢者にも投与できる

○貼り薬のデメリット

- ・貼る場所にかぶれや刺激などの皮膚トラブルが起こることがある
- ・貼り替え忘れてしまうことがある
- ・貼り薬の種類によっては高価になることがある

貼り薬には局所作用型と全身作用型があります。

●局所作用型

皮膚から組織中に薬物が移行することで貼った部位周辺に効果を発揮するので、患部への直接的な効果が期待できます。

●全身作用型

薬の成分が皮膚組織から吸収されて血液中に入ることによって、全身性に効果を発揮します。貼る場所が指定されていますので、薬をもらう際に説明を受けた箇所に貼ってください。

例えば、気管支拡張薬であるツロブテロールテープの場合、貼る部位は胸部・背部・上腕部のいずれかとなっています。気管支を広げる薬だからといって喉に貼る必要はありません。

また、消炎鎮痛剤の貼り薬と聞くと局所作用のものを思い浮かべますが、全身作用型のものもあります。この場合は痛い箇所ではなく指定された部位に貼ることになりますので、医師や薬剤師の説明に沿ってご使用ください。

貼り薬に限らず、薬は製品によっていろいろな使い方をしますので、指示された使い方を守りましょう。疑問や不安を感じる点がありましたら、医師または薬剤師へご相談ください。

また、処方された薬はその人のその時の症状に応じて医師が判断していますので、他の人にあげたりもらったりしないようにしてください。

正しく安全に薬を使用していきましょう。



局所作用型貼付薬の例

一般名（成分名）	分類
ケトプロフェンテープ	消炎鎮痛薬
フルルビプロフェンパップ	消炎鎮痛薬
リドカインテープ	局所麻酔薬

全身作用型貼付薬の例

一般名（成分名）	分類
硝酸イソソルビドテープ	冠血管拡張薬
ツロブテロールテープ	気管支拡張薬
ニコチン貼付剤	禁煙補助薬
ジクロフェナクナトリウムテープ75mg	消炎鎮痛薬

お知らせ 井原市公式 Youtube

皆さん、日々の生活の中で健康に関する不安などはありませんか？
井原市と共同で、お口の体操や減塩メニューの作り方、薬との上手な付き合い方などを紹介する動画を制作しました。

日々を健康的に過ごすための情報が満載です。ぜひ、ご覧ください。

【井原市公式youtube】

https://www.youtube.com/channel/UCsA_wMsYj8K8Ef4u0uzZ_pQ



動画に関すること……秘書広報課 ☎0866-62-9501



栄養と
食事

微量ながらも体の健康維持に 欠かせない「ミネラル」とは？

「ビタミン、ミネラルが不足しないように」と、よく耳にされると思います。では、この「ミネラル」とは何なのでしょう？

ミネラルとは、体を構成している4元素（酸素、炭素、水素、窒素）以外のものの総称です。ミネラルの80%以上は骨や歯にあり、強さや硬さ、弾力、耐久性を与えています。必須ミネラルと呼ばれるものは16種類ですが、その中でも代表的なミネラル5種類を紹介します。

・カルシウム (Ca)

骨や歯を形成し、神経の興奮を抑えます。牛乳に多く含まれています。

・鉄 (Fe)

赤血球の材料であり、酸素を全身に供給し、貧血を予防します。レバーに多く含まれています。

・マグネシウム (Mg)

骨の成分として重要なほか、体内のあらゆる代謝をサポートしています。アーモンドや大豆製品に多く含まれています。

・ナトリウム (Na)

体内の水分を保持しながら細胞外液や血液循環の量をコントロールしています。塩辛い加工品や即席中華麺に多く含まれています。過剰に摂取しがちのため注意が必要です。

・カリウム (K)

心臓や筋肉の機能を調節し、あらゆる細胞の正常な活動をバックアップしています。大豆製品や生の野菜・果物に多く含まれています。

ミネラルは、体内で作り出すことができないので、食事からとることが必須ですが、カルシウムや鉄は、多くの方が不足しています。カルシウムや鉄が不足すると、いろいろな不調が現れてしまいます。微量ながらも体の健康維持に欠かせない栄養素です。

【ニュートリションケア 2021年冬季増刊 参照】



主任管理栄養士
たけもと なつ
竹元 夏

私の趣味 早朝の自分時間

私には3歳と2歳になる子どもがいます。何をするにも手がかかる年齢で、朝起きてから保育所に行くまでの準備も、保育所から帰って寝るまでの時間もバタバタと大忙しな毎日です。

そんな私の自分時間は「朝早く起きて行くお買物!」です。

元々早く起きるのは苦手なのですが、アラームより10分程早く目が覚めた時に、近くのコンビニまで散歩に行ったのがきっかけです。人が少なく薄暗い中、何も考えずにゆっくり散歩ができる。大好きなカフェラテを飲みながらホッと一息つける時間でした。

何年も前に、職場の先輩に「時間は自分で作るもの」と聞いたことをふと思いだし、確かに…と納得。それ以来、少し早めに起きてスーパーへ行き、ゆっくり買い物をするのが私の自分時間になりました。たくさんのパンやお惣菜を抱えて戻って来たり、お店の中を縦横無尽に逃げ回ったりする子どもたちとの買い物も楽しいのですが、今の私には朝の1人時間も大切な時間になっています。皆さんも早く目が覚めた時には是非スーパーへ行ってみてください。空が綺麗だったり、風が気持ちよかったり、割引商品もあったり…良いことたくさんありますよ。



理学療法士
ふじわら きくこ
藤原 起久子



健康教室

からだの健康はお口から ~オーラルフレイルを知って予防しよう~ 2024年(令和6年)10月16日

オーラルは「口腔」、フレイルは「虚弱」、オーラルフレイルとはお口に関するささいな衰えを意味する言葉です。お口から始まる衰えのサインを知っていただき、今から実践できる口腔体操や唾液腺マッサージも合わせてご紹介しました。お口の機能の衰えを見過ごし、放置してしまうと、数年後には要介護状態となる確率が2倍以上になるとも言われています。舌やお口の周りの筋肉を動かして、食べる・飲み込む・



話すといった機能を保つことが重要です。また、お口の中には多くの細菌が存在しています。毎日の歯磨きやうがいなどで、お口の中を清潔にすることは、高齢者に多い誤嚥性肺炎などの病気の予防にもつながります。歯が1本でも残っていれば、ブラシを使ってお手入れをしてください。症状がない場合でも歯科検診はとても大切です。食べ物が噛みにくくなった、口が乾きやすくなった、むせることが増えたなど、お口に関するささいな衰えを見逃さないようにしていただき、気になることは早めに歯科医院や病院で相談をしましょう。



歯科衛生士
ひだに まこ
日谷 真子

糖尿病教室

糖尿病と目の病気

2024年(令和6年)10月1日

糖尿病の合併症のひとつである糖尿病網膜症は、自覚症状がないうちに進行し、何らかの症状が出てきたときには、増殖網膜症という失明の危機が迫った段階にまで進行していることがあります。また、増殖網膜症には血管新生緑内障という別の疾患も合併することがあります。増殖網膜症と血管新生緑内障は、どちらも食事療法や服薬での治療が困難なところまで進行した状態であるということ、さらに、白内障や角膜障害などの他の合併症についても図や写真を交えながら解説しました。



主任視能訓練士
ふじい ちあき
藤井 千晶

糖尿病と診断されたら、日頃から自分の目に関心をもって、早期発見・早期治療ができるよう、定期的に眼科を受診することが大切です。

お知らせ

■ 糖尿病教室

(毎月第1火曜日11時30分~ 玄関ロビー)

- 2/4 火 担当：医師
- 3/4 火 担当：看護師
- 4/1 火 担当：管理栄養士

■ 健康教室

(11時30分~12時 玄関ロビー)

- 4/16 水 担当：管理栄養士
- 内容：「骨粗鬆症対策~食事の工夫~」
※申し込みは不要です

※業務等の都合により講師や内容を変更・中止する場合があります。最新の情報については、当院のホームページ等でご確認ください。



糖尿病の治療として、食事療法、薬物療法、運動療法があります。運動を行うと、筋肉がブドウ糖を取り込むことによって血糖の値をよくします。また、運動を続けることによって、インスリンの効きがよくなる効果もあります。

運動はウォーキングなどの場合、1回15～30分を1日1～2回、6000歩程度行うとよいとされていますが、難しい方は細切れの運動を週に合計150分以上行うことでも効果があると言われています。

寒い中の運動は筋肉や靭帯、腱が固くなりやすいため、運動を行う前にはストレッチや体操をして身体を温めてから始めましょう。また、ウォーキングなど外で運動を行う際は、**室内外の気温差に注意**して行うことが大切です。冬は寒冷の影響で体温の発散を防ぐために血管が収縮して血圧が高くなり、心臓への負担も大きくなります。寒いときは重ね着をして運動をし、身体が温まったら1枚ずつ脱いで体温調節をしましょう。汗をかきにくい忘れがちになりますが、水分補給も意識して行いましょう。



理学療法士
やまさき かなえ
山崎 佳奈枝



血糖値だけじゃない、糖尿病の検査

2024年(令和6年)12月3日

糖尿病の検査の基本は『血糖値』ですが、病気とうまく付き合っていく為には他にも様々な検査があります。今回は、糖尿病の人が受ける主な検査について、説明させていただきました。

正常な人の血糖値は、空腹時では110mg/dL未満、食後でも200mg/dLを越えることはありません。検診などで高かった場合(空腹時血糖値126mg/dL以上、随時血糖値200mg/dL以上)、日を変えて再検査を行い、それでも血糖値が高ければ糖尿病と診断されます。

血糖値とあわせて行う糖尿病の検査として、『ヘモグロビンA1c (HbA1c)』があります。HbA1cは、赤血球中の糖を含むヘモグロビンの割合を調べる検査です。過去1～2か月間の血糖値を反映しており、HbA1cの上昇は高血糖状態が長期間持続していることを表します。空腹時血糖値が正常でも、HbA1cが高い場合は、食後の血糖値が高くなっている可能性があります。また、検査前の数日だけ食事や運動に気をつけても、HbA1cの値は下がりません。

高血糖状態が続くと、全身の血管や神経に合併症を引き起こします。合併症を調べる検査には様々なものがあります。

- ①運動神経・感覚神経の異常を調べる検査：神経伝導速度検査
- ②自立神経の異常を調べる検査：心拍変動計数 (CV R-R)
- ③網膜症の検査：眼底写真
- ④腎症の検査：血液(腎機能)・尿検査(尿タンパク)、腹部のCTや超音波検査
- ⑤動脈硬化の検査：血圧脈波測定(ABI/CAVI)、血管超音波検査、血管内皮機能検査(FMD)

合併症の進行を防ぐためにも、血糖値をうまくコントロールし、定期的に検査を受けましょう。



臨床検査技師
いでらは ひろみ
出原 啓美

外来診療担当医表

2025年(令和7年)2月1日現在

診療科		受付時間帯	月	火	水	木	金	備考
内科	午前 初診(予約外) 再来(予約)	8:30~11:00	吉澤	栗山	島田	立古	立古	
			岡大 原田	高見(予約有)	高見(予約有)	高見	吉澤	
	午後	予約のみ	栗山	島田 立古	栗山	島田 吉澤 河合(肝臓)		
循環器内科	午前	8:30~11:00	岡大 吉田	ペースメーカー 外来	徳永	予約 徳永	徳永	急患の受付時間に関しては、左記の限りではありません。
	午後	13:00~15:00			徳永 岡大 斎藤		徳永	
呼吸器内科	午前							医師の都合によりしばらくの間、休診とさせていただきます。
午後	13:00~15:00	福山市民応援医師(第1・3)						
神経内科	午前	8:30~11:00 予約のみ					岡大 中田(第1・3) 倉敷平成 菱川(第2・4)	
	午後	予約のみ					岡大 中田(第1・3) 倉敷平成 菱川(第2・4)	
糖尿病内科	午前							
午後	予約のみ			川大 森		川大 古味		
消化器外科 外 科	午前	8:30~11:30	小林	前田/杉生	前田	前田	小林/ 岡大 近藤祐 岡大 枝園(呼吸器)	
	午後	13:00~15:00	川大 田村(第1・3・5) (血管外科)	手術日			岡大 近藤祐 手術日	
乳腺外来	午後	予約のみ	岡大 桑原			岡大 松岡(隔週)		木曜日以外となる場合があります。月曜日の診療時間は9:00~12:30となります。
整形外科	午前	8:30~11:30	予約 平田	予約 平田	予約 平田		予約 平田	すべての曜日で予約がとれるようになりました。
	午後		手術日			手術日		
脳神経外科	午前	8:30~11:30			川大 福原			
	午後	13:30~16:00	川大 目黒(第1・3・5)					
眼科	午前	8:30~11:30	岸本	岸本	岸本	岸本	岸本	木曜日の受付時間は11:00までとなります。斜視・弱視の診療は予約が必要です。
	午後	予約のみ	検査 岸本	弱視・斜視外来 大月・岸本	手術日		検査 岸本	
小児科	午前	8:30~11:30	井上	井上	井上	井上	井上	福山市民応援医師による診療は受付時間13:00~15:30、診療時間13:30~となります。
	午後	13:30~16:00	井上/福山市民応援医師	井上(15:00~16:00)	井上	井上/福山市民応援医師	井上	
耳鼻咽喉科	午前	8:30~11:30	岡大 岡野(第1) 岡大 井口(第2・3・4・5)		岡大 安藤			一般診療は予約無しでも受け付けますが、予約優先です。
	午後	13:00~14:00	岡大 岡野(第1) 岡大 井口(第2・3・4・5) 補聴器相談(第2・4)		岡大 安藤			
産婦人科	午前	8:30~11:30	予約 岡大 小川		予約 岡大 増山			一般診療は予約無しでも受け付けますが、予約優先です。ただし第2水曜日午後は休診となります。
	午後	予約のみ	予約 岡大 小川		予約 岡大 増山			
泌尿器科	午前	8:30~11:30	龍治		龍治	龍治	龍治	一般診療は予約無しでも受け付けますが、予約優先です。
	午後	予約のみ	龍治		龍治	龍治		
皮膚科	午前	8:30~11:30		川大 中元			川大 中元	一般診療は予約無しでも受け付けますが、予約優先です。
	午後	13:00~14:00		川大 中元			川大 中元	
リハビリテーション科	午前	8:30~11:30	予約 中角(第2・4)		予約 岡大 派遣医師			
ドック・健診	午前	8:30~11:30	檀上	檀上	立古	栗山	檀上	
救急科	午前						岡大 小崎	
	午後						岡大 小崎	
禁煙外来	午前	完全予約制	予約 中角(第2・4) 診療時間 11:00~12:00					
内視鏡検査	午前	胃(上部)	島田	八木	岡大 赤穂	チクバ外科応援医師	栗山	
	午後	大腸(下部)	高見	小林	杉生	杉生	岡大 梶谷	
放射線科	午前		○	○	○	○	○	
	午後		○(岡大 黒田) ○(岡大 冨田)	○(岡大 黒田)	○	○(岡大 平木)	○(岡大 黒田)	

■自動再来機の受付時間 8:00~

■診療時間 午前/9:00~(産婦人科、耳鼻咽喉科 第2・3・4・5月曜日のみ 9:30~) 午後/13:00~(脳神経外科13:30~、小児科14:00~)

■休診 土曜日、日曜日、国民の祝日、年末年始(12/29~1/3) ■電話予約 月曜日~金曜日 13:00~17:15 ※ただし、急患の場合はこの限りではありません。



井原市立井原市民病院
〒715-0019 岡山県井原市井原町1186番地
TEL 0866-62-1133(代) FAX 0866-62-1275(代)
ホームページ <http://www.ibarahp.jp/> 電子メール byoin@ibarahp.jp

2025年(令和7年)2月発行
発行責任者: 院長 前田 徹也